

# デニカハードロックⅡ

## アクリル系樹脂モルタル ダイナシリーズ

### 1 はじめに

ダイナシリーズは液状主剤(A剤)と硬化剤含有細骨材(B材)からなる室温硬化型変性アクリル系樹脂モルタルで、主に充填接着、断面修復用途に適しています。

### 2 特徴

- ①液状主剤(A剤)＋硬化剤含有細骨材(B材)で取り扱いが容易です。
- ②A剤とB材の混合比を変えることで練り上がりの固さ調整が可能です。
- ③低臭気です。
- ④速硬化です。
- ⑤低温硬化性に優れ、 $-5^{\circ}\text{C}$ でも硬化します。
- ⑥環境ホルモン物質(ビスフェノールA)を含みません。

### 3 品種・荷姿

ダイナには、下記季節別グレードがあります。温度別硬化特性をご参照の上、選択してください。

	液状主剤 (3kgボトル)	硬化剤含有骨材 (6kg袋)
夏用組合せ	ダイナNSA	ダイナNB
冬用組合せ	ダイナNWA	ダイナNB

※ダイナNBは共通。



### 4 性状・特性例

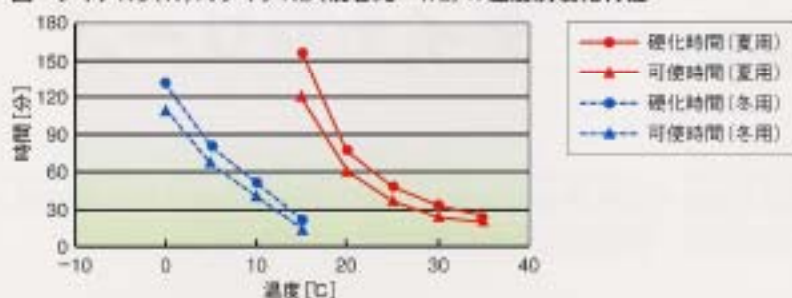
項目	単位	ダイナNS(W)A	ダイナNB
硬化前の特性			
外観	—	淡青色粘稠液体	灰色粉体
粘性	粘度( $\eta$ )	$\text{mPa}\cdot\text{s}/25^{\circ}\text{C}$	5,000
		$\text{mPa}\cdot\text{s}/10^{\circ}\text{C}$	(9,000)
比重	A/B単独	—	1.2
	A/B混合時	—	1.2 [嵩比重]
硬化後の特性 (A/B=1/2)			
樹脂物性	圧縮強さ	$\text{N}/\text{mm}^2$	50 (JIS K7208)
	圧縮弾性率	$\text{N}/\text{mm}^2$	2400 (JIS K7208)
	引張強さ	$\text{N}/\text{mm}^2$	15 (JIS A7113)
	引張弾性率	$\text{N}/\text{mm}^2$	2200 (JIS A7113)
	曲げ強さ	$\text{N}/\text{mm}^2$	30 (JIS A7203)
	曲げ弾性率	$\text{N}/\text{mm}^2$	5300 (JIS A7203)
	衝撃強度	$\text{kJ}/\text{m}^2$	1.6 (JIS K6855)
硬化収縮率	%	0.8	
接着特性			
引張剪断接着強さ	鉄/鉄	$\text{N}/\text{mm}^2$	10 (JIS K6850)
コンクリート接着強さ	乾燥面	$\text{N}/\text{mm}^2$	3.5/母材破壊 (JIS A6909)

※ダイナNSAとNWAの差は粘度のみです。硬化後の特性、接着特性に差はありません。

# 5

## 温度別硬化特性（可使時間および硬化時間）

図 ダイナNS (W) A/ダイナNB (混合比=1/2) の温度別硬化特性



※A剤の比率が高くなるにしたがって、硬化時間(可使時間)は若干遅くなります。

# 6

## 取り扱い方法

### 1) 準備する資材・器具

- 混合用容器(水・油等で汚染されていないもの)
- 天秤(A剤・B材の計量に用いる)
- 攪拌器具(金べら、電動ミキサー等)
- 施工道具(左官ゴテ、ゴムベラ等)
- ウェス及びアセトン(洗浄用)
- 保護安全具(保護眼鏡、耐溶剤性手袋、他状況に応じて準備する)
- 施工面乾燥器具(ガスバーナー、対象が濡れ面時に使用)

### 2) 取り扱い手順

- ①ダイナの施工面を洗浄する。水で濡れている場合にはバーナーで乾燥する。油等で汚染されている場合には、アセトンを含ませたウェスで汚染物をよく拭き取る。
- ②施工面をディスクサンダーやワイヤーブラシで研磨する。研削粉を除去する。
- ③ダイナのA剤とB材を天秤で計量し混合用容器中で攪拌する。混合比は以下の範囲が基本です。

※B材が多すぎると施工面との付着がよくなかったり、硬化物が粗となるので以下の混合比からあまり逸脱しないようにして下さい。

基本配合比      A剤（液体）：B材（粒状）＝1：1～1：2.5（重量比）

- ④混合したダイナを施工面へ充填し、コテやゴムベラ等で整形する。
- ⑤硬化養生する。

### ◇データ等記載内容についてのご注意

- 本書記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容についていかなる保証をなすものではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかおよび安全性について貴社の責任においてご確認ください。
- 本書記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
- ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・製品安全データシートで確認してください。これらの資料は、弊社の担当部門にご用意してありますので、お申しつけください。
- 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。



- ハードロックIIは消防法の危険物に該当しますので作業場は火気厳禁としてください。
- 一度に多量の接着剤を硬化させると激しい発熱が生じますので注意してください。
- 皮膚や衣服に付着したりするとかぶれるおそれがありますので早めに石けんで洗ってください。万一、かぶれた場合には医師の手当を受けてください。
- 作業場は換気を良くし、保護眼鏡、保護ゴム手袋、必要に応じて有機ガス用マスクなどの保護具を着用してください。
- 日に入れたり、飲んだりとは絶対にしないでください。誤って日に入った場合、15分以上流水で洗浄し、医師の手当を受けてください。また、誤飲した場合、吐かせて医師の手当を受けてください。
- ハードロックIIは湿気や金属との接触を避け、密性のうら冷暗所に保存してください。

# DENKA

本社  
東京都千代田区有楽町1-4-1 特殊塗料事業本部 〒100-8455  
電話03-3507-5137, 5356

